



新年あけましておめでとうございます

本年も子どもたちにとって素晴らしい1年になりますように、お祈り申し上げます。

『加速化する事業展開』

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は皆様のおかげをもちまして、大阪市東部里親支援センターmikata を開設し、無事に新春を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。本年も地域社会への貢献を視野に入れつつ、子どもたち、ご家族の皆様喜んでいただけるよう、職員一丸となり精励してまいります。何卒、本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

国から出された家庭養育推進計画の大きな目標はこどもたちを「できる限り家庭に近い環境で育てる支援」です。入所型の養育中心だけでなく、社会的養護の地域拠点として機能転換を図り、家庭に戻ったこどもや家族への継続的なフォロー、里親支援、地域の子育て家庭への支援など、多機能化を検討しています。これらの取り組みにより、社会的養育が必要な子ども一人ひとりの心と体をはぐくみ、親子

の総合的支援ができる体制環境づくりを推進してまいります。

しかし全国的に子どもたちへの虐待などで痛ましい事件は増える一方で、力不足を感じています。私たちの生活の拠点となる大阪市では、児童虐待の相談件数も増加し、子育てに困難を抱える世帯の包括的な支援は、さらに体制を強化しなければなりません。推進計画を進める中で多機能化の一つとして、全国的にはまだ少ないですが妊娠期から支える産前産後の妊産婦事業も視野に入れ、施設見学も含め今検討しているところです。事業展開や社会的養護の分野では急速に変化が求められる今、私たちの目指す目標にしっかりと焦点を合わせて研究と実践を進めていく所存です。

末筆ではございますが、皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

2026年1月1日

すみれ乳児院 施設長 菅野

子どもたちの様子

11月下旬より一層寒さが強まり、冬の訪れを感じる頃、すみれ乳児院では今年2歳を迎える子どもたちの七五三をお祝いしました。おしゃれなお洋服を着て初めての経験にドキドキしながら神社へ。ご祈禱をしてもらう間、興味津々に見ている子どもたち。1人ひとりにお祝いのメダルをいただいて、子どもたちはとても嬉しそうに受け取っていました。最後には千歳飴袋を貰い、ニコニコ笑顔で帰院しました。

乳児院へ戻ってからはお祝いのケーキを食べました。その後は写真撮影です。袴や着物に着替えて写真撮影を

しましたが、慣れない袴にヨチヨチ歩きになってる姿もありました。

これからも子どもたちが元気に過ごせるようにしたいと思います。
ももいろグループ 吉田



親子遠足



11月19日(水)堺市新金岡のピュアハートキッズランドへ親子遠足に行きました。

キッズランドには、ボールプールや乗り物、砂場、エア滑り台などさまざまな遊具があり、なかでもボールプールは約10万個のボールの海にみんな大興奮でした。見渡す限りのボールに飛び込んだり、埋もれたり、ボールを投げたりと思いつき体を動かして遊びました。子どもたちが笑顔になると保護者の方も嬉しい気持ちでいっぱいの様子でした。

乗り物が好きな子どもたちは何度も乗り物コーナーに戻って来ては、お父さんやお母さんに車を押ししてもらってご満悦。お友達の車を押しあげたり競争したりする姿を見られ微笑ましい光景も見られました。

昼食はみんなでカレーを食べました。いつもと違う雰囲気緊張する子や大好きなカレーに夢中な子、早く食べ終わってまた遊びに行きたい子など、子どもたちの自由な姿に保護者の方も職員も賑やかに過ごすことが出来ました。

帰る時間になっても子どもたちは「もっと遊びたい」と遊び足りない様子でしたが、帰りのバスに乗るとすぐに夢の中へ。院内では体験できない遊びをたくさん楽しむことができた親子遠足になりました。

あおいろグループ 中田



あさひ福祉まつり

10月26日に城北公園にて「第46回あさひ福祉まつり」を開催しました。福祉まつり開催の目的のひとつに『まつりを通して地域の人や団体との「つながり」を大切にし、一緒に交流を深める』ということ掲げているため、今年も地域の方々とのつながりを持って作り上げていこうとの思いで準備を進めてきました。

2カ月ほど前から福祉まつりの案内のため、施設近くにお住いの各ご家庭に福祉まつり開催の案内（チラシ）を配布したり、近隣の店舗や病院などの施設へ福祉まつりポスターの掲示のお願いしに地域を回りました。地道な作業ですが地域回りでは、これまでの取り組みの中で、すでに私達とのつながりができている所もあれば、まだこれから関係性を深めていく所もあり、福祉まつりを通してすみれ乳児院の周知活動につながって

いと実感しました。福祉まつり当日はあいにくの雨模様でしたが、それでも多くの方の来場があり、活気あるまつりとなりました。

あさひ福祉まつり院内担当 小園



豊里学園 大迫力の太鼓



当日はフリーマーケット、模擬店、ミニ動物園や模擬店、コーナー企画がありました

乳児院のお仕事～心理士

乳児院への心理職の配置は平成18年に国に認められ、今では多くの乳児院で配置されています。

乳児院にいる子どもたちは多くが0歳～3歳です。心理士の仕事のひとつは、子どもたちの心や体の発達が今どんなふうかな？と、子どもたちのお部屋にお邪魔して、生活の中を見たり、一緒に遊んだりしながら様子を把握することです。子どもは遊ぶことで、自分の周りの世界を知ったり、自分ができることを確かめたりするので、遊ぶことはとても大事にしています。

子どもたちは、大好きな大人にいやいやを言ったり、自分が発見したものを一緒に見ってもらったり、まだまだうまく表現できない気持ちを受け止めてもらったりしながら心を成長させていきます。そのため、大好きな大人に言いたいことを発信できているかな？ということも気にかけています。

0～3歳の時期のことは記憶に残ることはほとんどありませんが、自分や自分の周りの人を信頼するという心の土台を作る時期と言われています。その大事な土台作りのサポートをすることが心理士のいちばん大きな仕事だと思っています。

心理 遠藤



いただきま〜す！

☆寒い冬にもってこい☆ 『鮭みそうどん』

【材料】(大人2、子ども2)

うどん 3玉
生鮭3切れ(下味...酒小さじ2・塩少々)
白菜 100g
人参 100g
油揚げ 1枚

【調味料】

出し汁 3カップ
みそ 大さじ2
みりん、しょうゆ 各小さじ2



【作り方】

- ①鮭は一口大に切って下味をつけ、5分おく。人参はいちょう切、白菜と油揚げは食べやすい大きさに切る。
- ②だし汁に人参、白菜、油揚げを入れて軟らかくなるまで煮る。
- ③煮立ったら、みそ大さじ2、みりん、しょうゆ各小さじ2杯を合わせたものを溶き入れ、①の鮭を汁気を切って加える。鮭の色が変わったらアクを取る。
- ④うどんを入れ、ひと煮立ちしたら完成。

※野菜は家にある物何を入れてもOKです。大人用で、生姜やネギなどを入れてもおいしいです。



後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円

*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2025年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、すみれ乳児院(06-6958-6066)まで。



『すみれ乳児院ホームページ』



『すみれ乳児院Instagram』

これからの3ヵ月の行事予定

- 1月 初詣
新年会(餅つき大会)
- 2月 節分
- 3月 ひなまつり



【編集後記】

あけましておめでとうございます。2026年はスポーツの大会がたくさんありますね。私はお正月にある箱根駅伝が毎年の密かな楽しみです！今年も健康に気をつけて楽しく過ごしていきたいとおもいます。よろしくお祈りします。(貫井)

